

エコアクション 21

環境経営活動レポート

活動期間

2020年3月21日～2021年3月20日



 **EMIYAホールディングス**

(旧 株式会社エミヤ)

2021年6月20日

目 次

1. 環境経営方針	1
2. 事業活動の概要	2
3. 実施体制	3
4. 中期環境経営目標	4
5. 環境経営活動計画	5
6. 環境経営目標と実績	7
7. 取組評価と次年度取組	8
8. 環境経営活動の取組記録	10
9. 環境法規の遵守状況と関連事項	16
(1) 環境法規の遵守状況	
(2) 環境法規等違反による訴訟の有無	
(3) 環境法則に関連した苦情・要望等の有無	
10. 代表者による全体評価と見直し結果	17

1. 環境経営方針

【基本理念】

エミヤグループは、電気設備資材の卸売業、建設業、そして介護環境提供業として、照明器具をはじめとする電気設備機器・住宅設備機器を提供してまいりました。これらの事業活動は、オフィスビル・公共施設・住宅などの建築物や道路・通信網などの社会基盤整備へと直結しており、資源やエネルギー消費に及ぼす影響は多大です。従って、環境負荷低減への取り組みが当社の果たすべき社会的責任と認識し、継続的な環境負荷の軽減に努め、社会に貢献します。

【行動方針】

1. 事業活動を環境側面から見直し以下を重点項目として実施します。
 - (1) 業務のミス・ロス、クレームを削減して資源とエネルギーのムダを排除します。
 - (2) 省エネルギー・創エネルギー・蓄エネルギー機器、省資源対応の設備機器を提案販売することにより、低環境負荷社会の構築に貢献します。
 - (3) 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進し、産業廃棄物の削減を行います。
2. 環境マネジメントシステムを確立し、定期的に見直しを実施し、継続的な改善を行います。
3. 事業活動を行うにあたって、関連する環境の法規、条例及びその他の規制事項を厳守します。
4. 全員参加による環境保全活動を実施します。

制定 2008年12月22日

改定 2012年 4月11日

改定 2019年 5月27日

改定 2020年 6月 3日



株式会社エミヤホールディングス
代表取締役 三神 司

2. 事業活動の概要

【1】事業所名 及び 代表者

会 社 名 株式会社エミヤホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 三神 司
 所 在 地 〒003-0030
 北海道札幌市白石区流通センター7丁目8番1号
 U R L <http://www.emiya.com/>

【2】環境管理責任者 及び 担当者

環境管理責任者 村井 弘幸
 事務局責任者 埴田 奈津子

【3】事業内容

電気工事材料及び建築資材の販売、家庭用電気製品・電気通信機器空調機器の販売、
 暖房機器・昇降機器・衛生・給排水設備機器の販売、太陽光発電施工、介護用品のレンタル
 及び販売、介護リフォーム、リハビリ型ディサービス、住宅リフォーム

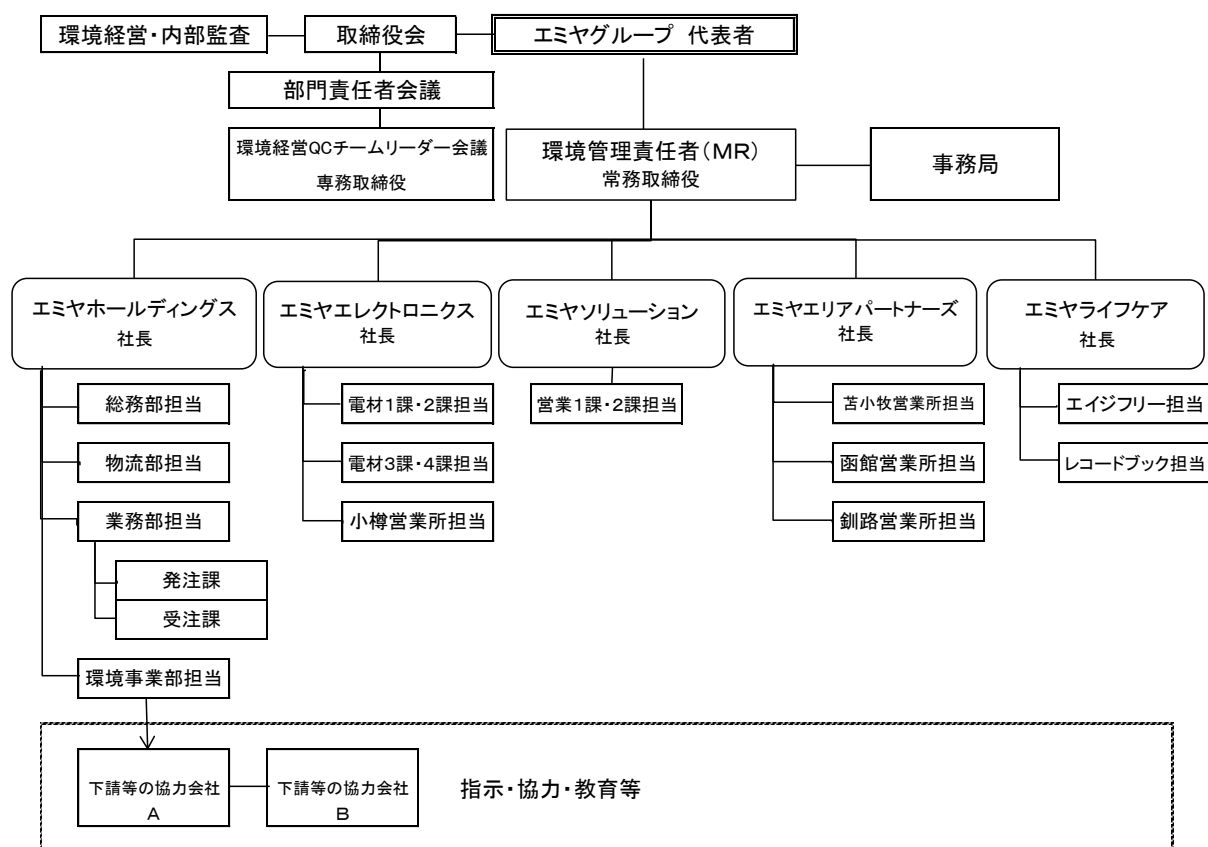
【4】事業規模

活 動 規 模 2020年度 (2020年4月～2021年3月)
 売 上 高 91億46百万円(簡易連結)
 従 業 員 144名
 床 面 積 12,303.35㎡
 年間工事件数 50件

【5】対象事業所

(株)エミヤホールディングス本社	〒003-0030	札幌市白石区流通センター7丁目8番1号
エミヤエレクトロニクス(株) 本社	〒003-0030	札幌市白石区流通センター7丁目8番1号
小樽営業所	〒047-0013	小樽市奥沢2丁目9番1号
エミヤソリューション(株)	〒003-0030	札幌市白石区流通センター7丁目8番1号
エミヤエリアパートナーズ(株) 釧路営業所	〒085-0003	釧路市川北町4番17号
苫小牧営業所	〒053-0006	苫小牧市新中野町3丁目6番11号
函館営業所	〒041-0824	函館市西桔梗町589-49
エミヤライフケア(株) パナニック介護フリーショップ 白石 レコードブック厚別	〒003-0030 〒004-0063	札幌市白石区流通センター7丁目8番1号 札幌市厚別区厚別西3条1丁目4番17号

3. 実施体制



構成要素	役割、責任及び権限
代表者	≪社長 三神司≫グループ会社を代表し、会社業務の全ての執行を統括する 1. EA21環境マネジメントシステムの実施及び管理に不可欠な資源の提供、資源には、人的資源及び専門的な技能、技術並びに資金を含む 2. 環境経営方針の作成 3. 環境管理責任者の任命 4. 全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者(MR)	≪常務 村井弘幸≫ 1. EA21に従った環境マネジメントシステムの要求事項の確立、実施、維持 2. 代表者(社長)への実績報告を含む見直しのための報告 3. EA21環境マネジメントシステムの運用実施 4. 環境経営活動レポートの作成責任
事務局	≪総務課 埴田奈津子≫ 1. 環境管理責任者のサポート 2. 環境管理責任者の指示による文書・記録の作成 3. 文書・記録の管理
各担当責任者	1. EA21環境マネジメントシステムの運用実施。
下請等の協力会社	省エネへの取り組み、廃棄物の分別など環境活動への参加に協力を求める。

4. 中期環境経営目標

項 目	単位	今年度 75期目標 (2020年)	1年後 76期目標 (2021年)	2年後 77期目標 (2022年)	3年後 78期目標 (2023年)
二酸化炭素排出量 ※排出係数 0.678 (kg-CO2/Kwh)	Kg-CO2	前年比▲1% 309,655	前年比▲1% 306,558	前年比▲1% 303,492	前年比▲1% 300,457
電力使用量	kWh	前年比▲1% 177,160	前年比▲1% 175,388	前年比▲1% 173,634	前年比▲1% 171,898
都市ガス ※1	m³	前年比▲1% 7,076	前年比▲1% 7,005	前年比▲1% 6,935	前年比▲1% 6,866
液化石油ガス使用量 ※2	m³	前年比▲1% 3.0	前年比▲1% 2.97	前年比▲1% 2.94	前年比▲1% 2.91
灯油使用量 ※3	L	前年比▲1% 3,476	前年比▲1% 3,441	前年比▲1% 3,407	前年比▲1% 3,373
ガソリン・軽油使用量 (1台当たり)	(L) /台	前年比▲1% 1.822	前年比▲1% 1,804	前年比▲1% 1,786	前年比▲1% 1,768
燃費 (1台当たり平均)	km/L	前年比+1% 11.78	前年比+1% 11.90	前年比+1% 12.02	前年比+1% 12.14
一般廃棄物排出量	m³	前年比▲1% 51.26	前年比▲1% 50.75	前年比▲1% 50.24	前年比▲1% 49.74
水使用量	m³	前年比▲1% 969	前年比▲1% 959	前年比▲1% 949	前年比▲1% 940
環境配慮商品の販売					
省エネ提案件数 ①提案件数 ②受注件数	件	①599 件 ②359 件	各部署設定 の合計	各部署設定 の合計	各部署設定 の合計
ミス・ロス削減による 環境負荷低減		「自工程完結」 管理思考によ り、ミスを最小 化する。	新年度方針 にて決定	新年度方針 にて決定	新年度方針 にて決定
石膏ボードリサイクル 100%	%	100%	100%	100%	100%
環境に関わるリフォーム提案	件	45 件	45 件	50 件	55 件
化学物質使用量 (塗料)	-	化学物質の使用量は少量の為に目標設定はしないが、適正に管理する。(納品数と使用数の差異を確認)			

※1 札幌

※2 小樽

※3 釧路・苫小牧・小樽 (札幌・函館は倉庫のみ)

5. 環境経営活動計画

二酸化炭素排出量の削減

項目	活動内容	
電気使用量	昼休み・退社時・使用していない場所の消灯	通年
	事務所蛍光灯の照度調節	通年
	不要箇所の光源取り外し	通年
	事務所照明のLED化	通年
	融雪電力の節電	冬期 (7~11月除く)
	天井ヒーターのこまめな切替	冬期 (7~11月除く)
	トイレ便座のフタを閉める	通年
	トイレ便座ヒーター夏場(6~9月)OFF	夏期(6~9月)
	トイレ主電源、帰宅時OFF	通年
	トイレパネルヒーター・トイレジェットタオル禁止	通年
	使用しないパソコンの電源OFF	通年
	待機電力カット	通年
	電気ヒーターのこまめなOFF	冬期(12~3月)
	夏場・不要時の電気ポット使用削減	夏期(6~9月)
	コピー・FAX複合機を節電モードに保つ	通年
	電気温水器の温度調節 夏場OFF(6~9月)・冬場40℃(10~5月)	通年
	冷蔵庫にカーテンをつける	通年
ガス使用量 灯油使用量	冷暖房の温度設定 夏場28℃(6~9月)・冬場23℃(10~5月)	通年
	使用しない場所は冷暖房を止める	通年
	エアコンフィルターのこまめな清掃	通年
	シーリングファン・サーキュレーターで空気を循環し、エアコンの使用量を抑える。	通年
ガソリン・軽油使用量	テレマティクス導入	通年
	日報管理(走行距離)	通年
	暖機運転は最小限にする	冬期(12~3月)

一般廃棄物排出量の削減

項目	活動内容	
ゴミの分別	古紙類・空缶・ペットボトル・産廃に分別	通年
	リングプルリサイクル運動	通年
	ミスコピー・ミスプリントは裏面を利用する	通年
	両面コピーを使用する	通年
	図面・見積は、メールでやり取りをする	通年
	マイ箸の推進	通年

水使用量の削減		
項目	活動内容	
水使用量	食器洗いや手洗いの際、水を出したままにしない	通年
	洗濯の際の水位調節	通年
	蛇口をシャワーへ替える	通年
環境配慮商品の購入・販売		
項目	活動内容	
環境配慮商品の購入	トイレットペーパーはシングル巻きであること。 芯なしトイレットペーパーの使用。	通年
	文房具はリサイクル材を多く使用していること	通年
	窓付封筒のエコ化	通年
環境配慮商品の販売	省エネ・省資源等の商品の販売・PRを推進 環境配慮商品の販売	通年
そ の 他		
項目	活動内容	
ミス・ロスの削減による 環境負荷低減	「自工程完結」管理思考を採用し、ミスを最小化する。	通年
石膏ボードリサイクル	石膏ボードリサイクル100%。分別の徹底。	通年
環境に関わるリフォー ム提案	環境負荷低減に関わる提案	通年
化学物質使用（排出）量の削減		
項目	活動内容	
化学物質使用量（塗料）	化学物質の使用量は少量の為目標設定はしないが、適正に 管理する。（納品数と使用数の差異を確認）	通年

6. 環境経営目標と実績

当社における環境目標と実績は下記の通りです。(2020 年度 2020 年 3 月 21 日～2021 年 3 月 20 日)

73 期より平成 29 年度北海道電力の排出係数 0.678 を使用。

項 目	単位	74期実績 (2019年)	75期 目標数値	75期実績 (2020年)		結果
二酸化炭素排出量 ※排出係数 0.678 (kg-CO2/Kwh)	Kg-CO2	312,782.5	前年比 ▲1%	320,427.3	+2.4%	×
電力使用量 ※1	kWh	178,950	前年比 ▲1%	192,628	+7.6%	×
都市ガス（札幌のみ）	m³	7,147	前年比 ▲1%	7,660	+7.2%	×
液化石油ガス使用量 （75 期より小樽のみ）	m³	6.1	前年比 ▲1%	7.4	+21.3%	×
灯油使用量 ※2	L	3,511.6	前年比 ▲1%	2,923.2	▲16.8%	○
ガソリン・軽油使用量 （1 台当たり累計）	(L) / 台	1,840.4	前年比 ▲1%	1,653.1	▲10.2%	○
燃費（1 台当たり平均）	km/ (L)	11.66	前年比 +1%	11.93	+2.3%	○
一般廃棄物排出量	m³	51.78	前年比 ▲1%	54.12	+4.5%	×
水使用量	m³	979	前年比 ▲1%	1,193	+21.9%	×
環境配慮商品の販売						
省エネ提案件数 ①提案件数 ②受注件数	件	①483 件 ②265 件	①599 件 ②359 件	①453 件 ②273 件	①75.6% ②76.0%	×
ミス・ロス削減による 環境負荷低減	部署ごとに多少の偏りがあるが、ミスは減少傾向にある。		「自工程完結」 管理思考を採用し、ミスを最小化する。	コミュニケーションを図り、チーム力を上げる。		▲
石膏ボードリサイクル 100%	%	100%	100%	100%	100%	○
環境に関わるリフォーム提案	件	39 件	45 件	38 件	▲7 件	×
化学物質使用量（塗料）	使用量が少なくデータは取っていないが、適正に管理している。		適正に管理（納品数と使用数の差異を確認）	100%実施		○

※1 一部、イーネットワークシステムへ変更（75 期 2 月より釧路・3 月より苫小牧・函館）

※2 釧路・苫小牧・小樽（札幌・函館は倉庫のみ）

7. 取組評価と次年度取組

評 価	次年度の取組
◆電力使用量の削減 目標未達成【+7.6%】 ※今期よりレコードブックが追加 札幌のみ1.1%削減で目標達成。しかし、事務所照明だけを比較すると1.4%UPしている。残業は減少しているが、分社化で会議室の利用が増えたこと、コロナ禍で換気扇の使用が増えたことが要因。釧路・苫小牧・函館・小樽は目標未達成。釧路は人員の増加、エアコン設置、給湯器を電気に切り替えたことが要因。苫小牧も冬季にエアコンの使用が増加。函館も人員増加でPC台数、電子レンジ、電気ケトルの使用が増加したことが要因。	前年1%削減。 釧路は2F倉庫の照明消し忘れ対策として、センサーライトを設置する。グループ全体としては、当たり前のルールの継続。消し忘れをなくし、使用していない場所の消灯を行うこと。使用していない電子機器の電源OFFを心がける。更に残業削減に取り組み、使用量を抑える。
◆ガス使用量の削減 札幌：目標未達成【+7.2%】 小樽：目標未達成【+21.3%】 札幌未達成。電気同様、分社化により会議室の利用が増えたこと、設定温度も夏場28℃・冬場23℃を守らなくなってきたように感じる。 昨年の途中から釧路のガス使用がなくなったが、それ以上に小樽の使用量が増えた。手洗いが増えたことが要因。	前年1%削減。 札幌は夏場、必要以上に事務所を冷やしすぎないように定期的に事務局から通知を行う。更に、エアコンフィルターの清掃を引き続き行う。会議室使用後のエアコン消し忘れチェックを継続。残業削減に取り組み、使用量を抑える。
◆灯油使用量の削減 目標達成【▲16.8%】 釧路・苫小牧は目標達成。釧路は新事務所になり暖かくなったので、使用量が減った。更にこまめな温度管理と戸の閉め忘れを徹底した。苫小牧は、冬季にエアコンの使用を増やした為、灯油の使用量が減った。小樽は目標未達成。換気により室温低下の為、灯油の使用量が増えた。	前年1%削減。 気温に左右されるが、設定温度を守り実行する。ウォームビズの励行。暖気が逃げないように戸の開けっ放しにも注意を払う。
◆ガソリン・軽油使用量の削減（1台当りの使用量） 目標達成【▲10.2%】 ※今期よりレコードブックが追加 全拠点で目標達成。コロナ禍の影響で営業自粛があったのと、札幌は現場の減少もあり、走行距離が減少した。苫小牧はトラックの配送が減少。	前年1%削減。 ミス・ロスによる緊急配達・誤配達を減らす。まとめ配送を行う。今後も、効率良いルートで営業する。
◆燃費（1台当りの平均）目標達成【+2.3%】 ※今期よりレコードブックが追加 札幌・函館・小樽で目標達成。札幌は燃費の良い車種へ入れ替えた為。小樽は軽自動車が増えた為、燃費が上がった。函館は安全運転・エコ運転を徹底した。 釧路・苫小牧は未達成。冬季のアイドリング、急発進・急停止が見受けられた。	前年1%UP。 急発進・急ブレーキ、無駄なアイドリングを減らす。また、荷台チェック・空気圧チェックを定期的に行い、燃費を向上させる。
◆一般廃棄物排出量の削減 目標未達成【+4.5%】 ※今期よりレコードブックが追加 札幌・小樽は目標達成。札幌は社員数が増加したにも関わらず、4.9%削減。展示会が中止になり、その分の廃棄を考慮しても全体的に減少。苫小牧は前期と同じ数値。釧路・函館は未達成。人員の増加と分別が徹底されていなかった。	前年1%削減。 個々のゴミ分別の意識向上と、廃棄の際は細かくして容積を減らすこと。問題があれば事務局から注意する。また、増えた場合の原因追究を行い、改善する。

評 価	次年度の取組
水使用量の削減 目標未達成【+21.9%】 ※今期よりレコードブックが追加 全拠点で目標未達成。拠点ごとの人員増加とコロナ禍によるこまめな手洗いが要因。更に釧路はコロナ対策でジアイノの運転を「強」に切り替えた。	前年1%削減。 細かな日常生活での節水を継続。手洗い・食器洗い・洗濯の際の水位調節や、拭き掃除・窓掃除などで使用する水も調整しながら行う。 新入社員・中途社員にはルールを周知すること。
◆環境配慮商品の販売 省エネ提案件数 提案件数453件 目標未達成【75.6%】 受注件数273件 目標未達成【76.0%】	省エネ提案をグループ責任者会議の定例議題とし、共通認識を持ち「省エネを極める」 全社で提案件数649件・受注件数379件を目標とする。
◆ミス・ロス削減による環境負荷低減 ミスの80%はコミュニケーション不足からもたらされる。チーム力を上げること。	引き続き「自工程完結」管理思考を採用し、ミスを最小化する。 各チームの自工程の見直しを行う。
◆石膏ボードリサイクル100% 環境に配慮し、100%リサイクルできるものを使用。分別を徹底し、適正に処理を行った。	引き続き100%とする。
◆環境に関わるリフォーム提案 実績38件 目標未達成【▲7件】	目標45件。
◆化学物質使用量（塗料） 使用量が少なく、データは取っていないが、適正に管理している。（納品数と使用数の差異を確認）	引き続き適正な管理を行う （納品数と使用数の差異を確認）

8. 環境経営活動の取組記録

◆環境経営方針



環境経営方針の社内提示



2019年10年継続記念

◆二酸化炭素排出量の削減



トイレジェットタオルの禁止



トイレ便座のフタを閉める



テレマティクスサービスで
社用車走行管理



事務所・倉庫照明のLED化

※釧路・苫小牧・函館・小樽

※札幌は一部（会議室・会長室・応接間・倉庫）



照明スイッチに担当者をつけて管理
(左：札幌)・(右：釧路)



エアコンスイッチにエリア担当者
をつけて管理（札幌）



設定温度を貼って管理
（苫小牧）



部署ごとにエアコンフィルターの
清掃を定期的に行っています（札幌）



シーリングファンを取り付け、
室内の温度を一定に保っています



（釧路）

◆一般廃棄物排出量の削減



裏紙の再利用



古紙の分別（古紙は専門業者へ）
部署ごとに配置



産廃の分別

◆水使用量の削減



節水表示
蛇口をシャワーへ変換



節水表示
トイレタンク（大・小の使い分け）

◆環境活動



定期的に事務所周りの雑草刈り
ゴミ拾いを行っています（札幌）

※釧路・苫小牧も定期的に行っています



草刈前



草刈後



年に2回、駐車場の草刈りを行っています（小樽）



年に一度、窓掃除を行っています
（苫小牧）



半年に一度、窓掃除を行っています
（レコードブック）



古紙回収 1,605 kgに対し、
苫小牧上質古紙リサイクル協同組合
より、16ロール×1 ケース配布し
ていただきました（苫小牧）



駐車場の横にひまわりを植えて
景観を良くしています（釧路）

◆地震想定防災訓練 ※対応手順に基づき、年1回実施しています。

8/12 札幌 地震想定防災訓練（避難・備品確認・消火）



8/12 釧路 （避難・消火器訓練）



8/12 苫小牧 （消火器訓練）



8/12 函館 （避難・消火器訓練）



8/6 小樽 （避難経路確認・消火器訓練）



8/7 レコードブック 地震想定防災訓練（利用者様がいない仮定での避難・消火器の使い方）



緊急地震速報が鳴り利用者様がいないと仮定した対応行動中

避難行動を行い、安全な場所での利用者様の体調・バイタルの確認中



消火器の使い方確認中

◆教育訓練 ※エコアクション21を環境経営QC活動に取り入れています

- ① 4月経営方針全社大会（TV会議・Web会議）で方針発表
- ② 部署ごとに月1回のQCチーム会議
- ③ 10月確認会議にて上期活動総評



確認会議にて上期活動総評



部署ごとのQCチーム会議の様子



毎月活動内容を
メールで報告



事務局よりメールで情報発信。
社員とのコミュニケーションを図ります。

◆オール電化・太陽光・LED照明のご提案



最高の技術をお客様
にご提供します
※当社HPより

◆太陽光の設置（札幌）

75期 年間総発電量 6,102Kwh → 4,137.2 kg-CO2 削減



札幌で設置している太陽光

9. 環境法規の遵守状況と関連事項

(1) 環境法規の遵守状況

環境法規の適用の有無に関しては、法規、条例を調査し、当社の事業活動の範囲から関連法則を抽出している。当社の事業活動に該当または関連している法律は、条例については、その規格の内容と要求事項並びに当社が実施すべき活動内容を記載した登録簿を作成し、これに基づいて当社の環境活動を実施している。

環境法規について違反はなかった。

(2) 環境法規等違反による訴訟の有無

環境法律等違反による顧客・地域からの訴訟は現在まで発生していない。

(3) 環境法則に関連した苦情・要望等の有無

顧客・地域・利害関係者からの環境関連の苦情・要望等の事例は現在まで発生していない。

適用法規制	当社の対応	遵守状況
火災予防条例	適正に維持管理 取扱責任者の掲示板	遵守確認済み
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	保管には囲いと掲示板を設ける 運搬収集許可の更新 管理票の保管と札幌市への報告	遵守確認済み
道路運送車両の保安基準	構造、騒音の大きさ等に関し基準に適合 ばい煙、悪臭のあるガス又は有害なガスを多量に発散しないもの	遵守確認済み
家電リサイクル法	【特定家庭用機器】 小売店へ料金を支払い、引渡す。 又は自治体指定の方法で引取依頼する。	遵守確認済み
フロン排出抑制法	3ヶ月ごとの定期点検 年に一度の業者による定期点検	遵守確認済み

10. 代表者による全体評価と見直し結果

2021年度環境活動計画について

- 各項目を継続し、1%削減を目標とする。燃費は1%UP。
- 76期もQCサークル活動により具体的推進を図る
 - (1) ミス・ロス削減活動
 - PDCAを回転させ「自工程完結」管理思考を採用し、ミスを最小化する。
 - (2) 環境配慮商品提案販売
 - (3) 二酸化炭素排出量削減
 - (4) 一般廃棄物排出量削減
 - (5) 水使用量削減
 - (6) 2S（整理整頓）
 - (7) 「活動管理板」
 - (8) 部署の独自項目
- 年に2回の全社員会議に機会を設け事例発表と水平展開を行う。
- 環境経営・QC活動の方針確認をグループ責任者会議の定番議題とし、管理する。
- 環境製品の提案・販売について、省エネ提案件数と受注件数を目標に取り入れる。
省エネ提案件数649件 / 受注件数379件
その他環境製品の提案販売に注力する。
- SDGsの取り組みを研究、検討しエコアクション21・QC活動との融合を図る。